

2012年7月30日
ボランティアインフォ

～復興情報の過疎化を防ぐ、新たな支援～

「メディアを失った町」岩手県大槌町に復興情報の発信・教育拠点
NewsLab♡おおつち 7月30日にオープンしました

元地方紙記者1名が常駐、ボランティア記者の派遣や地域住民の教育支援を実施

NPO 法人ボランティアインフォ（代表：北村孝之、<http://volunteerinfo.jp/>）と日本ジャーナリスト教育センター（代表運営委員：藤代裕之、<http://jcej.info/>略称 JCEJ、以下略称）は、7月30日に岩手県大槌町の復興支援ボランティアのための宿泊施設「大槌きらりベース」に、町や地元商店街、地域で活動する NPO の協力を得て大槌地域の復興を支える情報発信・教育拠点「NewsLab♡おおつち（ニュースラボ オオツチ）」を開設いたします。

「NewsLab♡おおつち」には、元茨城新聞メディア事業部長で司法・経済・県政記者、デスクの経験を持つ松本裕樹（51 才）が現地責任者として常駐し、住民とともに地域新聞を発行、フェイスブック・ツイッター・ブログといったソーシャルメディアを活用し、大槌の情報を世界へ向けて発信する予定です。津波で1階部分が被災した旧大槌町立大槌北小学校の校舎を利用した「大槌きらりベース」を情報発信・教育拠点とし、取材活動だけでなく、JCEJ が募集する全国のボランティア記者やクリエイターによる取材や地域住民への教育支援を行い、発信者を育成していきます。

■ 「NewsLab♡おおつち」開設の背景



岩手県大槌町は、東日本大震災に伴う津波により、県内でもっとも高い割合の人的被害に見舞われました。当時の町長はじめ町の幹部も亡くなりました（死者・行方不明者の対人口割合 10.2%*1）。

地元の情報を発信していた「岩手東海新聞」は震災後に廃刊となり、町の状況を継続的に報じるメディアを失いました。このため、石巻市（40,530 件*2）や気仙沼市（24,775 件*3）など他の激甚被災地と比べると、復興に関する取り組みをマス・メディアで取り上げられる機会も少なく（大槌町：16,975 件*4）、ブログをはじめ

とするネット・メディアでの言及も少ない状況です。復興計画も遅れがちで、他市町村が土地区画整理など具体的な復興作業に入っているなか、今年7月時点で事業説明会を開催するにとどまっています（*5）。復興を進めるためには、現状が広く知られる必要があります。そしてそのためには、住民が主体となって、大槌の現状や魅力を発信していくことが不可欠と考えています。

*1 人的被害の割合「岩手県東日本大震災津波復興計画 復興基本計画」参照：
http://www.pref.iwate.jp/~hp0212/fukkou_net/fukkoukeikaku.html

*2, 3, 4 日経テレコン 2011年3月11日から2012年6月30日までの検案件数

*5 「国土交通省市街地復興パターンの調査概要資料」参照：
<http://www.mlit.go.jp/common/000209535.pdf>

■松本裕樹のプロフィールと活動への思い

プロフィール：1985年茨城新聞社に入社、司法・県政・経済・つくば支局の各担当記者、整理、報道部デスク（地域・経済担当）を経て、メディア局で公式サイト管理者を務め、東日本大震災時はツイッターを担当「中の人」として関連情報を発信し続けた。



活動への思い：被災地域が「東北3県」とくくられてしまったことで茨城は注目されず悔しい経験から、情報過疎への強い危機感を持ち、大槌プロジェクトへ参加しています。大槌に立ち上げる新たな地域メディアは必ず復興への大きな役割を果たすと信じています。町の人々とともに大槌の発信力を高め、未来を創り出して行きたいと考えています。

■ボランティアインフォ

ボランティアをして欲しい団体とボランティアしたい人をつなげることをミッションに掲げている情報ボランティア。2012年6月30日に大槌町で開催した「おおつちありがとうロックフェスティバル」(<http://www.arifes.jp/>)の情報発信にも協力しました。大槌きらりベースには6月から滞在し、地元ボランティア団体やNPOなどと関係を構築してきました。松本はボランティアインフォの一員として大槌町で活動します。

■JCEJ

JCEJは、大槌町から情報発信を行う住民記者500人の育成を目標に、住民が情報発信する際に必要となる機材の提供や、取材・編集・ソーシャルメディアでの教育など発信者の育成を担います。手始めに、8月から9月末まで全国の大学生や記者、カメラマンが「NewsLab♡おおつち」に集まり、地域を取材するとともに、住民向けのインターネット教室や写真撮影の講習会を実施します。

今回の協力団体は、遠野まごころネット（理事長：多田一彦 <http://tonomagokoro.net/>）、福幸きらり商店街、大槌町、などです。取り組みの一部に「三菱商事復興支援財団の復興支援助成金」の支援を頂いています。

■本プロジェクトに関連する団体の概要

特定非営利法人遠野まごころネット（理事長：多田一彦、<http://tonomagokoro.net/>）
岩手県沿岸部の被災者を支援するために、遠野市の住民を中心に結成。岩手県最大のボランティアネットワークを形成しています。

大槌町福幸きらり商店街（発信拠点「きらりベース」前）にある仮設商店街）

◆問い合わせ先◆

日本ジャーナリスト教育センター(略称：JCEJ)

jcejinfo@gmail.com